

ガスふろがま (取替型)

取扱説明書 保証書付

特定保守製品

品 名	型 式 名
GF-A551SC	GF-A550SC
GF-A101C	GF-A100C

このたびはガスふろがまをお買い上げいただきましてありがとうございます。

この製品は『消費生活用製品安全法』に指定された特定保守製品です。(→ P.18)

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分理解したうえで正しくご使用ください。

この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。

内容をよくご確認ください。

この機器は取替型ですので、新築等の浴室には設置することはできません。

この取扱説明書は、いつでもご覧になれる身近なところへ大切に保管してください。

取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店または、弊社窓口へご連絡ください。

その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、品名・製造年月をお知らせください。



もくじ

ページ

ご利用の前に	安全に正しくお使いいただくために	1
	この取扱説明書の表示について	1
	機器本体の表示について	1
	必ずお守りください	2
	各部の名称とはたらき	6
	機器本体[GF-A551SC]	6
	操作パネル	6
	機器本体[GF-A101C]	7
	操作パネル	7
使い方	GF-A551SCご利用時	
	ご利用前の準備	8
	機器の準備	8
	上り湯やシャワーを使用するには	9
	口火を点火する	9
	上り湯やシャワーでお湯を使用する	10
	追いだき(おふろ沸かし)をするには	12
	追いだき(おふろ沸かし)をする	12
	GF-A101Cご利用時	
	ご利用前の準備	13
必要なとき/困ったとき	機器の準備	13
	追いだき(おふろ沸かし)をするには	13
	口火を点火する	13
	追いだき(おふろ沸かし)をする	14
	冬期の凍結予防をするには	15
	通水による方法	15
	機器の水を抜く方法	16
	再使用するとき	17
	凍結したときは	17
	長期使用製品安全点検制度	18
	長期使用製品安全点検制度について	18
	法定点検(有料)について	18
	所有者登録について	18
	この製品の設計標準使用期間について	19
	法定点検の連絡先について	19
	部品の保有期間について	19
	点検のポイント・お手入れのしかた	20
	点検のポイント(月1回程度)	20
	お手入れのしかた(こまめに掃除)	20
	定期点検について(有料)	21
	乾電池の交換のしかた[GF-A551SC]	22
	乾電池の交換のしかた[GF-A101C]	23
	故障かな?と思ったら	24
	アラームについて	26
	アフターサービスについて	27
	仕様一覧	28
	商品保証書	裏表紙

安全に正しくお使いいただくために

■この取扱説明書の表示について

製品を正しくお使いいただくためや、お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するため、以下のような表示で注意を呼びかけています。

危険

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お願い

安全・快適に使用していただくために、よく理解していただきたい内容を示しています。

(→P.XX)

参照ページを示しています。

■機器本体の表示について

使用上の注意

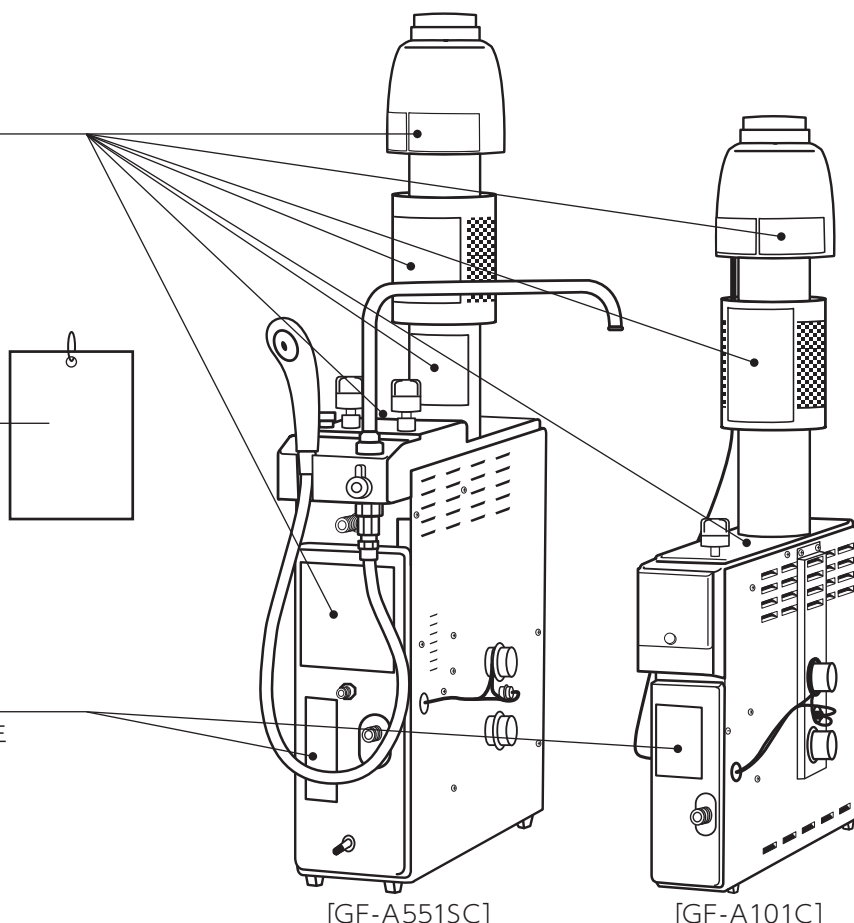
- 使用上の注意、取り扱い方法について表示しています。

安全にご使用いただくために (別添シート)

- 使用上の注意や一部のアラーム表示について説明をしています。
取扱説明書と同梱されていますので、浴室内でご使用ください。

銘板 特定保守製品

- 品名・型式名・使用ガスの種類・製造年月・製造事業者等を表示しています。



[GF-A551SC]

[GF-A101C]

お知らせ

- 取扱説明書と同梱されているシート「安全にご使用いただくために」は、ふろがま本体や排気筒などに取り付けられないでください。

◇ 冬期の入浴について ◇

・冬期など浴室・脱衣室と居室の温度差が大きいときは、急激な温度変化による身体への悪影響(ヒートショック)によって、特に高齢者は入浴時の事故につながるおそれがあります。入浴時に暖房機器で浴室と脱衣室を暖めるなどしてください。
※浴室を暖めるには、シャワーでお湯を流したり、浴槽にふたをしないでのお湯はりする方法もあります。

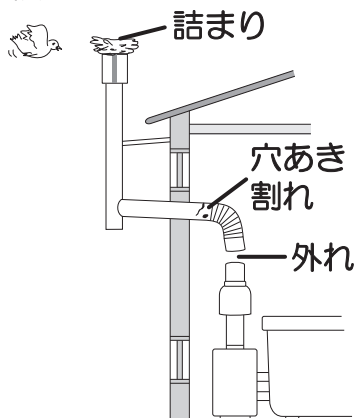
必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、この内容は必ずお読みください。

危険

排気筒の定期点検

- 排気筒(排気筒トップを含む)が外れたり、変形・破損・詰まりなどがないか定期点検を行う。異常なまま使用すると、排気ガスが室内に漏れて、一酸化炭素中毒の原因になり、危険です。



必ず行う

ガス漏れに気づいたときは

- ①すぐに使用をやめて、ガス栓を閉める。
また、メーターのガス栓も閉める。
- ②窓や戸を開け、ガスを外に出す。
- ③お買い上げの販売店または、最寄りのガス事業者に連絡する。



必ず行う



すべての処置が終わるまでの間、絶対に

- ・火をつけない
 - ・電気器具のスイッチの「入」/「切」をしない
 - ・電源プラグの抜き差しをしない
 - ・周辺で電話を使用しない
- 炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。



火気禁止

換気注意

- 換気口・給気口は常に確保し、物などで塞がない。不完全燃焼の原因になります。



禁止

- 機器の使用中は台所や脱衣室などの換気扇を使用しない。排気ガスが逆流して室内に入り、一酸化炭素中毒の原因になります。



禁止

警告

機器の銘板を確認

- 機器の銘板に表示してあるガス種(ガスグループ)および電源(電圧・周波数)で機器を使用する。ガス種および電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、異常点火でやけどをしたり、機器が故障したりする場合があります。

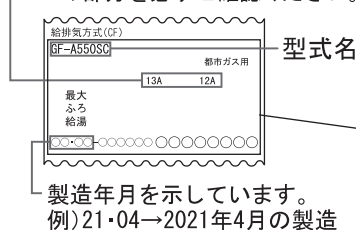
※右図はGF-A551SCを示します。

- 転居時の注意は(→P.27)

※GF-A551SCで説明しています。

(例：都市ガス12A・13A)

この部分を必ずご確認ください。



必ず行う

機器設置および付帯工事

- 機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店、または弊社窓口へ依頼し、安全な位置に正しく設置する。設置工事に不備があると事故の原因になります。



必ず行う

屋外に設置しない(浴室設置形)

- 風により炎が機器の外にあふれて、火災のおそれがあります。また、雨水の浸入などで、故障の原因になります。



禁止

機器本体やガス配管の接続部などに乗らない

- けがや機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。



禁止

ガス配管接続について

- この機器のガス管の接続はねじ接続です。ガス配管接続工事には専門の資格・技術が必要です。機器の設置・移動・取り外しおよび付帯工事の際には必ずお買い上げの販売店、または弊社窓口へご相談ください。



必ず行う

増改築などで排気筒トップを屋内状態しない

- 設置後、排気筒トップを波板やビニール・塗装時に使用した養生シートなどで囲わない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。



禁止

必ずお守りください

警告

改造・分解禁止

- 絶対に改造・分解は行わない。改造・分解は、一酸化炭素中毒などの思わぬ事故や火災・故障の原因になります。



分解禁止

火災予防のために必ず守ること

- 火をつけたままの就寝や外出は絶対にしない。火災の原因になります。
- 機器および排気筒(排気筒トップを含む)の周辺には紙や木材・洗濯物など燃えやすいものを置かない。火災の原因になります。
- 機器の周辺では灯油・ガソリン・ベンジンなど引火性危険物を使用しない。火災の原因になります。
- 機器の周辺や上にスプレー缶、カセットコンロ用ボンベを置いたり、使用したりしない。熱で缶・ボンベの圧力が上がり爆発のおそれがあります。
- 浴室内で可燃性スプレーを使用しない。浴室内に可燃性ガスが滞留すると、引火して爆発のおそれがあります。



必ず行う



禁止



禁止



禁止

空だき安全装置の確認

- ご使用時は空だき安全装置が所定の場所(→P.6)に取り付けられていることを確認する。
外れたままの状態では空だきなど誤った操作をすると、火災のおそれがあります。



必ず行う

浴室の排水口のお手入れ

- 浴室の排水口はこまめに掃除する。排水口が詰まると、機器内に水が浸入して、点火の際に炎があふれ火災や機器が損傷するおそれがあります。



必ず行う

このような場合は使用しない

- 増改築や家屋の修繕時(特に外壁の塗装)には、シートで排気筒トップを覆うことがあります。このような場合は機器を使用しない。不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因になります。



禁止

異常時の処置について

- 地震・火災などの緊急時の場合は速やかに使用を中止し、ガス栓を閉じる。
- 使用中に異常な燃焼や臭気・異常音・異常な温度を感じた場合
 - ①ただちに使用をやめて、ガス栓を閉じる。
 - ②お買い上げの販売店、または弊社窓口へ連絡する。



必ず行う

ソーラー接続禁止

- ソーラー機器とは絶対に接続しない。ご希望の温度より高い温度のお湯が出てやけどをするおそれがあります。



禁止

シャワー・給湯使用時の注意[GF-A551SCのみ]

- シャワーなどお湯を使う場合は、手のひらで温度を確認して湯温が安定してから使用する。
- 次のような場合には一瞬熱いお湯が出ることがあるので、出始めのお湯は体につけない。
 - ・お湯を再使用するとき
 - ・高温のお湯を使った直後
 - ・お湯の量を急に少なくしたとき
 - ・夏期など水温の高い時期に少量のお湯を使おうとしたとき
 - ・給水圧が下がったとき
 - ・長時間の追いだき直後
 - ・機器が故障したとき
- シャワー・給湯使用中に、使用者以外はお湯の温度を変更しない。
- シャワーホースが折れ曲がるなどしたまま、シャワーを使用しない。
- 給湯使用時は上り湯パイプに触らない。



必ず行う



高温注意



禁止

入浴時の注意

- お風呂を沸かした後は上下に温度差があるので、よくかきまぜて、手でお湯の温度を確認してから入浴する。
- お風呂沸かし(沸かし直し)や追いだき時には、循環口付近は熱くなることがあるので触らない。
- 浴槽のふたの上に乗ったり手をついたりしない。

上記を怠ると思わぬ事故や、やけどのおそれがあります。

必ずお守りください

警告

追いだきの消し忘れをしない

●お風呂を沸かしすぎた場合は、蒸気によりやけどのおそれがあります。浴室に入るときや浴槽のふたを開けるときは十分注意する。また、浴槽のお湯が熱い間は絶対に手や体を入れない。やけどのおそれがあります。



必ず行う

つまみはマークに合わせて使用する

●**点火つまみ**はマークの位置に合わせて使用する。マーク以外の位置で使用する、異常着火により機器が変形し、排気が漏れる場合があります。変形した場合はすぐに使用を中止し、修理を依頼してください。そのまま使用すると一酸化炭素中毒の原因になります。



必ず行う

注意

空だき防止

●追いだき(お風呂沸かし)の際は、必ず浴槽の上部循環口より上に10cm以上お湯(水)が入っていることを確かめる。水位が低いと、空だきによる機器の故障や浴槽の損傷、火災の原因となることがあります。



必ず行う

排気筒トップについての注意

●排気筒トップに指や棒を入れない。故障やけがの原因になります。



禁止

用途についての注意

●一般家庭でのお風呂沸かし以外の用途には使用しない。思わぬ事故につながる可能性があります。



禁止

排気筒や機器本体の高温部に触らない

●使用中または使用後しばらくは、機器操作部以外は触らない。また、機器と浴槽(または壁)との間に絶対手を差し込まない。やけどのおそれがあります。



接触禁止

子供についての注意

●浴槽のお湯(水)に潜ったり、浴室で遊ばせたりしない。
●子供だけで入浴させたり、お湯を使わせたりしない。

思わぬ事故につながる可能性があります。



禁止

乾電池に関する注意

●機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼する。もし、お客さまで旧機器の処理をされる場合、乾電池を使用している機器は乾電池を取り外してから正規の処理を行う。



必ず行う

お願い

この機器は一般家庭用です

●業務用のような使い方をされると機器の寿命を著しく縮めます。この場合の修理費は保証期間内でも有料になります。浴槽についても、一般家庭用サイズをご使用ください。

出湯の注意[GF-A551SCのみ]

●上り湯パイプにホースを接続して他の場所に給湯しないでください。適切な温度にならなくて、やけどや水漏れの原因になります。

ガス事故防止のために

●使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中も正常に燃焼していることを点火確認ランプで確認してください。
●使用後、または就寝や外出するときは、必ずガス栓を閉じてください。

消火時の注意

●燃焼中に、ガス栓を操作しての消火はしないでください。また、乾電池を抜いての消火もおやめください。

特監法対象機器

●この機器は、法的資格を有する者以外は設置または移設できません。また、機器に右のようなシールが貼付してあるか確認してください。シールが貼付していない場合はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律第6条の規定による表示	
工事事業者の氏名 又は名称及び連絡先	TEL
監督者の氏名	
資格証の番号	
施工内容及び 施工年月日	年 月 日

お願い

地下水や温泉水、井戸水では使用しない

- この機器は上水道用です。地下水・井戸水(簡易水道を含む)を使用されると、水質によっては機器内の配管内部に異物が付着したり短期間で銅管を腐食させたりするなど、耐久性を損なう場合や、機器が正しく作動しないことがあります。地下水・井戸水(簡易水道を含む)を使用する場合は施工前に十分水質※を確認してください。ただし、地下水・井戸水(簡易水道を含む)には様々な成分が溶け込んでいるため、機器に対する影響は正確に判断できませんので、保証期間内でも有料修理になります。
※飲料水適合していることを原則として、硬度60mg/ℓ以下・pH7～8・遊離炭酸4mg/ℓ以下が望ましい。
- 温泉水は使用しないでください。

入浴剤や洗剤についての注意

- 強酸・強アルカリの洗剤および、硫黄・酸を含んだ入浴剤は、機器の性能低下や熱交換器などが腐食する原因になりますので使用しないでください。入浴剤の含有成分などを確かめ、機器への悪影響がないものをご使用ください。
- 塩素系のカビ洗浄剤や酸性の浴室用洗剤・洗濯排水・消臭剤または塩などが機器本体やガス管にかかった場合は、すぐに水洗いをしてください。
- ふろ用洗浄剤または乳白色や白濁する入浴剤のなかには、沈殿物が熱交換器にたまって異音を発生したり、ふろ配管内にたまって動作不良を起こしたりするものがあります。沈殿物を生じないものでも熱交換器内で沸騰を起こし異音を発生することがあります。このような入浴剤はご使用を避けてください。
- 薬草やゆず入り入浴剤の場合は、薬草などが循環口フィルターや機器内部に詰まることがありますので、ご使用を避けてください。

入浴時の注意

- 湯止めキャップを外して、お子様がオモチャなどを入れて遊ばないように注意してください。機器の故障の原因になります。
- 浴槽の循環口をタオルなどで塞がないでください。循環不良によりお風呂沸かしがでなくなるなど、機器の故障の原因になります。

市販の補助用具について

- 事故防止のため、この機器専用の付属品・別売品以外は使用しないでください。
 - 市販品の湯冷め防止器などは使用しないでください。
- 飲用にお使いのときは[GF-A551SCのみ]**
- 機器内に長時間たまった水や断水復帰後の水は、飲用に使用せずに、雑用水としてお使いください。

日常の点検・お手入れ

- 浴槽が水中の微量の銅イオンと脂肪分(湯あか)により、青く着色することがあります。日々、浴室のお手入れをするとともに、万一着色した場合はクレンザーやアンモニア水(10%程度)などで拭き取ってください。

機器に水をかけない

- 機器にむやみに水をかけないでください。故障の原因になります。

乾電池に関する注意

- 乾電池の入れ方を間違えたり、新しいものと古いもの、また、違う種類のを混ぜて使用したりしないでください。寿命が短くなったり、液漏れすることがあります。

積雪時の閉塞^{いそく}について

- 積雪時は排気筒トップの点検、除雪を行い、積雪や屋根から落ちた雪により排気筒トップが塞がれないように注意してください。故障の原因になります。

設置する場所や状況について

お願い

設置場所について

- 設置場所をお決めになるときは近隣の家が運転音(燃焼音など)で迷惑にならない場所に設置してください。(工事担当者にご相談ください)

給排気について

- 機器は給気・排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因になります。

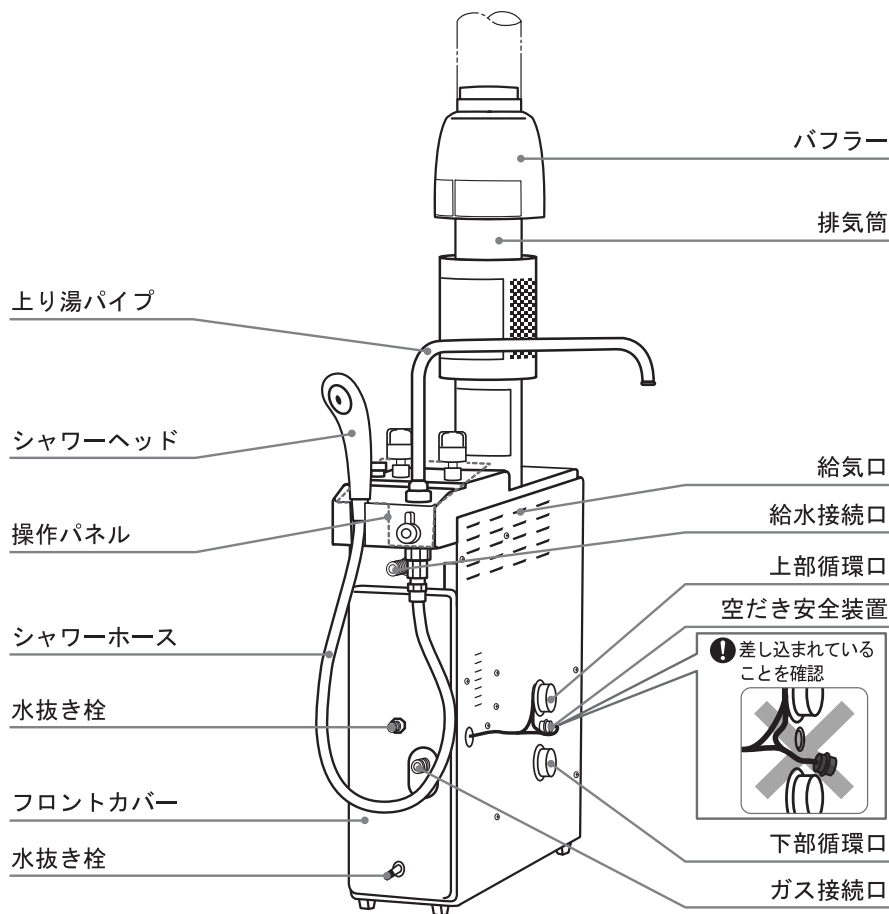
排気ガス

- 増改築時には排気ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないようにしてください。変色・破損・腐食の原因になります。
- 排気筒トップの周囲には、排気ガスによって加熱されて困るもの(植物・ペットなど)を置かないでください。

各部の名称とはたらき

■機器本体[GF-A551SC]

この機器には右がまタイプと左がまタイプがあり、下図は右がまタイプです。
左がまタイプは、循環口が下図とは逆の、向かって左側にあります。



■操作パネル

電池交換ランプ(緑)

電池の交換時期を点滅でお知らせします。(→P. 22・26)

点火確認ランプ(赤)

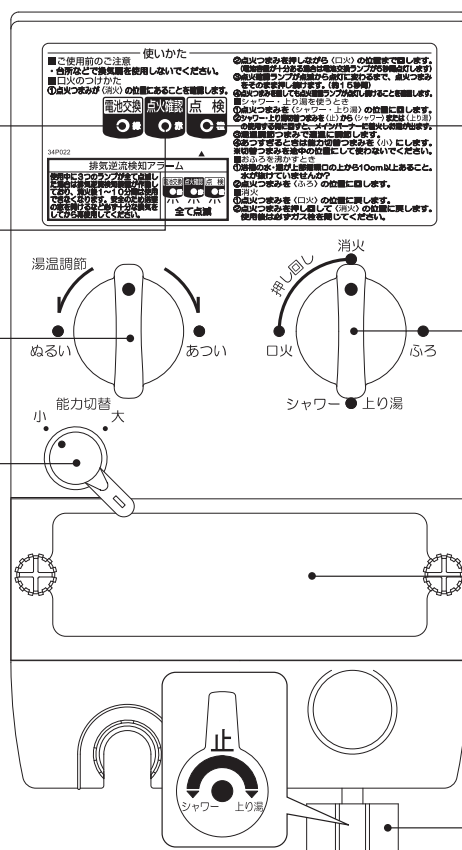
点火したことを点灯でお知らせします。

湯温調節つまみ

シャワーや上り湯を使用するときの温度を調節します。

能力切替つまみ

温度調節つまみで温度を調節しても適温にならないときに、能力を調節します。(→P. 11)



点検ランプ(橙)

機器の点検時期を点灯でお知らせします。
また、機器の異常を点滅でお知らせします。(→P. 26)

点火つまみ

電池ケースカバー

電池ケースがあります。
電池交換時に外します。
(→P. 22)

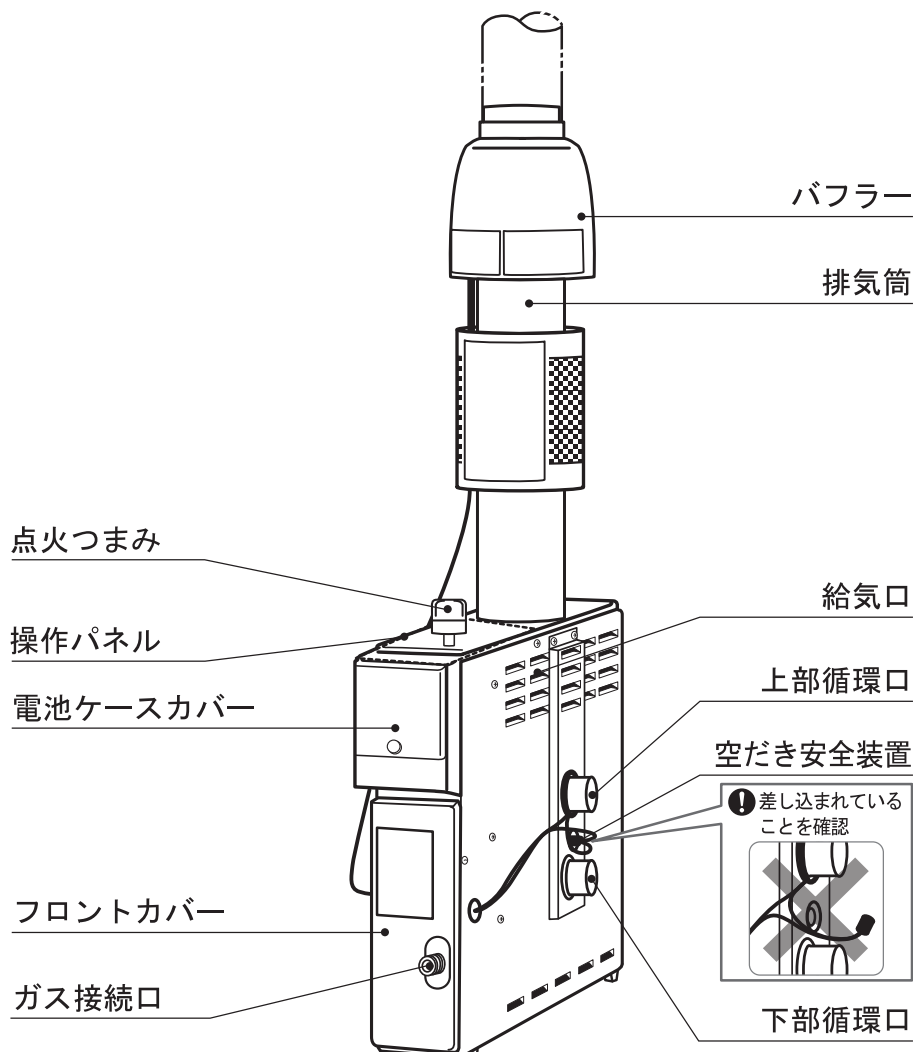
シャワー・上り湯切替つまみ

シャワーや上り湯を使用するときに使います

各部の名称とはたらき

■機器本体[GF-A101C]

この機器には右がまタイプと左がまタイプがあり、下図は右がまタイプです。
左がまタイプは、循環口が下図とは逆の、向かって左側にあります。



■操作パネル

点火確認ランプ(赤)
点火したことを点灯でお知らせします。

電池交換ランプ(緑)
電池の交換時期を点滅でお知らせします。(→P. 23・26)

点検ランプ(橙)
機器の点検時期を点灯でお知らせします。
また、機器の異常を点滅でお知らせします。(→P. 26)

使いかた

■ご使用前のご注意
①台所などで換気扇を使用しないでください。

■口火のつけかた
①点火つまみが〈消火〉の位置にあることを確認します。
②点火つまみを押しながら〈口火〉の位置まで回します。
(電池容量が十分ある場合は、電池交換ランプが5秒間点灯します)
③点火確認ランプが点滅から点灯に変わるまで、点火つまみをそのまま押し続けます。(約15秒間)
④点火つまみを離しても点火確認ランプが点灯し続けることを確認します。

■お風呂を沸かすとき
①浴槽の水・湯が上部循環口の上から10cm以上あること。水が抜けていませんか?
②点火つまみを〈追いだき〉の位置に回します。

■消火
①点火つまみを〈口火〉の位置に戻します。
②点火つまみを押し回して〈消火〉の位置に。
③使用後は必ずガスの元栓を閉めてください。

34Q073

排気逆流検知アラーム	電池交換	点火確認	点検
緑	赤	橙	緑

使用中に3つのランプが全て点滅した場合は排気逆流検知装置が作動しており、消火後約10分間は使用できません。安全のため治療の意を断るなど必ず十分な換気をしてから再度使用してください。



ご利用前の準備

■機器の準備

初めてお使いになるときは、まず浴室内にある機器の準備をします。

1 機器や機器周辺の点検・確認を行う

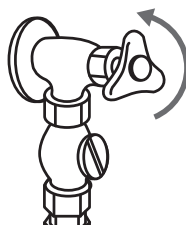
点検のポイント(→P.20)をご覧ください。

2 シャワー・上り湯切替つまみを止の位置に合わせる



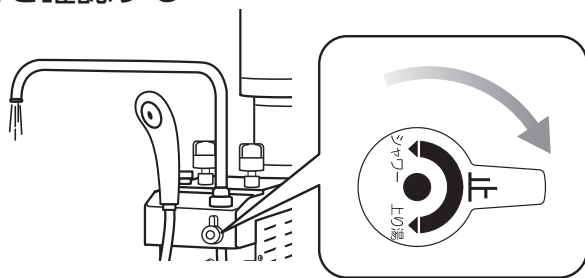
機器の前面にあります。

3 給水元栓を全開にする



機器の周辺にあります。

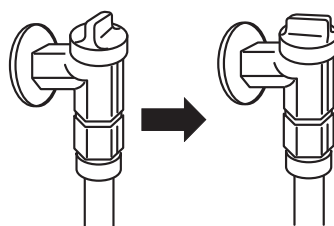
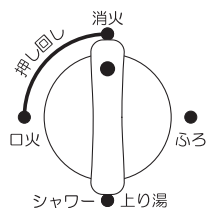
4 シャワー・上り湯切替つまみを上り湯側に回し、上り湯パイプから水の出ることを確認する



水が出ることを確認したら、止めます。

5 点火つまみが消火の位置にあることを確認してガス栓を開ける

点火つまみが消火の位置にあるか確認します。





上り湯やシャワーを使用するには

■口火を点火する

⚠️ 注意

- 上り湯・シャワーのみを頻繁に使用するとき、浴槽の下部循環口より上にお湯(水)を入れた状態で使用する。浴槽にお湯(水)をためることをせずに、上り湯・シャワーを使用すると、異音や破損の原因になります。
機器が破損した場合の修理費は保証期間内でも有料となります。
- 点火操作を行っても点火しないとき、また途中で消火したときは使用をやめ、5分後に再度点火操作を行う。点火操作を何回も繰り返すと機器内に放出したガスに異常な着火をして大変危険です。それでも点火しないときは、使用をやめてお買い上げの販売店または、弊社窓口へ点検を依頼してください。

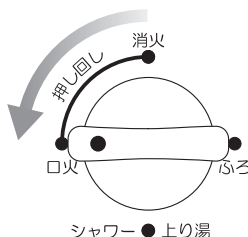


必ず行う

まずは確認

- ◎シャワー・上り湯切替つまみが止の位置にあることを確認する
- ◎点火つまみが消火の位置にあることを確認する
- ◎上り湯・シャワーのみを使用するとき、浴槽の下部循環口より上にお湯(水)が入っていることを確認する
- ◎脱衣室や台所の換気扇が「切」になっていることを確認する
換気扇の使用はあふれサーミスタ作動(→P.26)の原因となります。

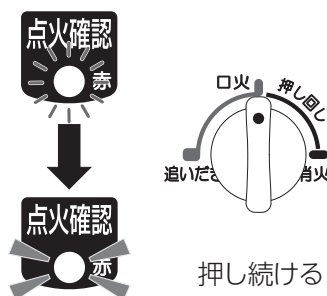
1 点火つまみを押しながら 口火の位置まで回します



“カチン”と音がするまで押し回します。

※電池容量が十分ある場合は電池交換ランプが約5秒間点灯します。

2 点火確認ランプが点滅から点灯に変わるまで、 点火つまみを約15秒間 そのまま押し続けます



点火確認ランプが点滅から点灯に変わります。

3 点火つまみを離しても、 点火確認ランプが点灯し 続けていることを確認し ます



消えてしまう場合は5分後に1の操作からやり直します。

メモ

- 初めてお使いになるときや長時間使用していなかった場合などは、ガス配管内に空気がたまっていることがあり、口火が点火しにくい場合があります。



上り湯やシャワーを使用するには

■上り湯やシャワーでお湯を使用する



警告

- 上り湯・シャワーを使うときは、必ず手でお湯の温度を確かめてから使用する。確認を怠るとやけどのおそれがあります。
- 浴槽にお湯張りしているときは、お子様を浴室で遊ばせない。思わぬ事故につながる可能性があります。



必ず行う

1

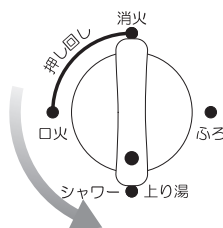
点火確認ランプが消えていないことを確認します



点火確認ランプが消えている場合は、5分程待ってから**口火を点火する**(→P.9)の操作を行ってください。

2

点火つまみをシャワー●上り湯の位置まで回します



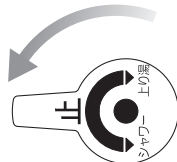
3

シャワー・上り湯切替つまみを、上り湯側かシャワー側へ回します

バーナーが点火します。

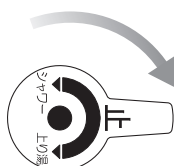
【シャワーを使う】

シャワー・上り湯切替つまみを、シャワー側へ回します
シャワーヘッドからお湯が出ます



【上り湯を使う・浴槽へお湯をためる】

シャワー・上り湯切替つまみを、上り湯側へ回します
上り湯パイプからお湯が出ます



※浴槽へお湯をためる場合は、浴槽の排水栓がしてあることを確認します。



長時間の追いだき直後は、シャワーから熱いお湯（80℃以上）が出るのを防ぐため、自動的にお湯が止まる場合があります。以下の方法で再使用できます

- 1** シャワー・上り湯切替つまみを上り湯の位置へ回し、上り湯パイプからお湯を出します。このとき湯温調節つまみをぬるいの位置に合わせ、ぬるいお湯になるまで熱いお湯を流し出します。

警告 ●熱いお湯が出るため、体にかからないよう注意する。やけどのおそれがあります。

- 2** お湯がぬるくなったことを確認して、シャワー・上り湯切替つまみをシャワーの位置へ回します。湯温調節つまみでシャワー温度をお好みの温度に調節してください。

お願い

- 通常のシャワー使用において、頻繁にお湯が止まるときは機器の故障の場合がありますので、使用をやめて点検を依頼してください。



上り湯やシャワーを使用するには

警告

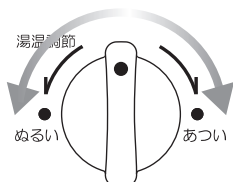
- お湯を使用している本人以外はお湯の温度を変えない。また、体にお湯を浴びたままお湯の温度を変えない。お湯の温度を変えたときは必ず手でお湯の温度を確かめてから使用する。
- 能力切替つまみは大または小にきちんと合わせて使用する。途中の位置で使用しない。
- お湯を一度止めて再使用するときは、一瞬熱いお湯が出ることがあるので注意する。
- 長時間の追いだき直後や口火を長時間点火しているときにシャワー・上り湯切替つまみを開けると熱いお湯が出ることがあるので注意する。
- 使用后、または就寝や外出するときは、必ず点火つまみを消火の位置に戻す。怠ると火災の原因となります。



必ず行う

4

お湯の温度を湯温調節つまみを回して調節します



左に回すとお湯がぬるくなります。
右に回すとお湯があつくなります。

湯温調節つまみで調節しても適温にならない場合は

夏期水温が高いときや水圧が低い地域では、湯温調節つまみをぬるいにしてもお湯が熱い場合があります。このようなときは能力切替つまみで湯温を調節します。



通常はこの位置で使用してください。



湯温調節つまみをぬるいにしても熱すぎるときに使用してください。

5

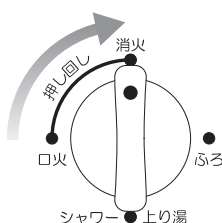
お湯を止めるときはシャワー・上り湯切替つまみを止の位置に合わせます



バーナーが消火します。

6

すぐに使用しないときはシャワー点火つまみを口火の位置まで回し、口火から押しながら消火の位置まで戻します



口火を消すことでガスの無駄が少なくなります。

お知らせ

- 夏場など水温が高くなると、低い温度に設定しても、熱いお湯が出ることがあります。

メモ

- 電池交換・点火確認・点検のランプが同時に点滅し機器が自動消火するのは、あふれサーミスタが作動したためで、機器の故障ではありません。(→P.26)



追いだき(おふろ沸かし)をするには

■追いだき(おふろ沸かし)をする

浴槽にお湯張りをしたあと湯温がぬるい場合は追いだきをしてください。

 警告	●おふろを沸かしているときは、お子様を浴室で遊ばせない。思わぬ事故につながる場合があります。 ●入浴時には十分かきまぜて、必ず手で湯温を確かめてから入浴する。追いだき中や追いだき後は、浴槽のお湯の上部は熱くなっているため、やけどのおそれがあります。 ●使用後、または就寝や外出するときは、必ず点火つまみを消火の位置に戻す。怠ると火災の原因となります。	 必ず行う
 注意	●追いだき(おふろ沸かし)の際は、必ず浴槽の上部循環口より上に10 cm以上お湯(水)が入っていることを確かめる。水位が低いと、空だきによる機器の故障や浴槽の破損、火災などのおそれがあります。	 必ず行う

まずは確認

- ◎上部循環口より10 cm以上お湯(水)があることを確認する
- ◎脱衣所や台所の換気扇が「切」になっていることを確認する
換気扇の使用は機器が停止する原因になります。(あふれサーミスタ作動(→P.26))

そして準備

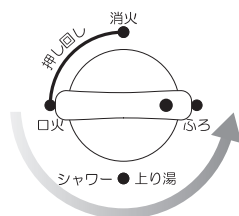
- ◎入浴前に沸かす場合は、浴槽のふたをする

- 1 点火つまみが□火の位置にあり点火確認ランプが消えていないことを確認します



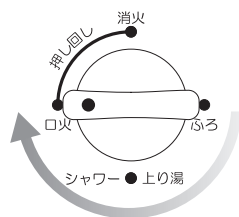
□火を点火していない場合は、**□火を点火する**(→P.9)の操作を行ってください。

- 2 点火つまみをふろの位置に合わせます



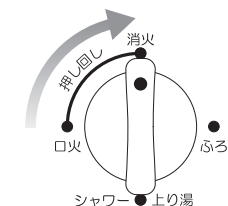
バーナーが点火します。

- 3 おふろが沸き上がったら点火つまみを□火の位置まで戻します



バーナーが消火します。

- 4 使用後・就寝・外出のときには点火つまみを消火の位置まで戻し、ガス栓を閉めます



- おふろ沸かしは水から沸かすより、お湯張りをしてから追いだきを行った方が、時間がかからず経済的です。
- 電池交換・点火確認・点検のランプが同時に点滅し機器が自動消火するのは、あふれサーミスタが作動したためで、機器の故障ではありません。(→P.26)



ご利用前の準備

■機器の準備

初めてお使いになるときは、まず浴室内にある機器の準備をします。

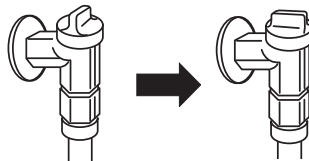
1 機器や機器周辺の点検・確認を行う

点検のポイント(→P.20)をご覧ください。

2 点火つまみが消火の位置にあることを確認します



3 ガス栓を開けます



GF-A101Cご利用時



追いだき(おふろ沸かし)をするには

■口火を点火する

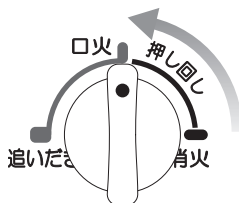
**注意**

●点火操作を行っても点火しないとき、また途中で消火したときは使用をやめ、5分後に再度点火操作を行う。点火操作を何回も繰り返すと機器内に放出したガスに異常な着火をして大変危険です。それでも点火しないときは、使用をやめてお買い上げの販売店または、弊社窓口へ点検を依頼してください。



必ず行う

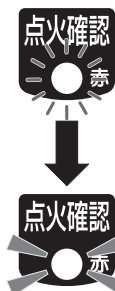
1 点火つまみを押しながら口火の位置まで回す



“カチン”と音がするまで押し回します。

※電池容量が十分ある場合は電池交換ランプが約5秒間点灯します。

2 点火確認ランプが点滅から点灯に変わるまで、点火つまみを約15秒間そのまま押し続ける



点火確認ランプが点滅から点灯に変わります。

3 点火つまみを離しても、点火確認ランプが点灯し続けていることを確認する



消えてしまう場合は5分後に1の操作からやり直します。



●初めてお使いになるときや長時間使用していなかった場合などは、配管内に空気がたまっていることがあり、口火が点火しづらい場合があります。



追いだき(おふろ沸かし)をするには

■追いだき(おふろ沸かし)をする

 警告	●入浴時には十分かきまぜて、必ず手で湯温を確かめてから入浴する。追いだき中や追いだき後は、浴槽のお湯の上部は熱くなっているため、やけどのおそれがあります。 ●使用後、または就寝や外出するときは、必ず点火つまみを消火の位置に戻す。怠ると火災の原因になります。	 必ず行う
 注意	●追いだき(おふろ沸かし)の際は、必ず浴槽の上部循環口より上に10cm以上湯(水)が入っていることを確かめる。水位が低いと、空だきによる機器の故障や浴槽の破損、火災などのおそれがあります。	 必ず行う

まずは確認

- ◎上部循環口より10cm以上お湯(水)があることを確認する
- ◎脱衣所や台所の換気扇が「切」になっていることを確認する
換気扇の使用は機器が停止する原因になります。(あふれサーミスタ作動(→P.26))

そして準備

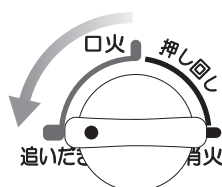
- ◎浴槽のふたをする

- 1 点火つまみが口火の位置にあり点火確認ランプが消えていないことを確認します**



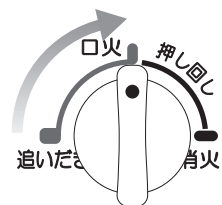
点火確認ランプが消えている場合は、5分程待ってから**口火を点火する**(→P.13)の操作を行ってください。

- 2 点火つまみを追いだきの位置に合わせます**



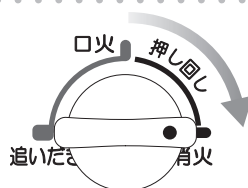
バーナーが点火します。

- 3 おふろが沸き上がったら点火つまみを口火の位置まで戻します**



バーナーが消火します。

- 4 使用後・就寝・外出のときには点火つまみを消火の位置まで押しながら戻し、ガス栓を閉めます**



※しばらくの間追いだきしない場合も、ガスと電池の節約のため、**点火つまみ**を消火の位置に戻すことをおすすめします。



- 電池交換・点火確認・点検のランプが同時に点滅し機器が自動消火するのは、あふれサーミスタが作動したためで、機器の故障ではありません。(→P.26)



冬期の凍結予防をするには

お願い

- 暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがあります。以下をお読みいただき、必要な処置をしてください。
- 凍結により機器や配管が損傷した場合の修理費は、保証期間内でも有料になります。

冬期には機器や配管内の水が凍結して、機器が破損することがあります。凍結のおそれがあるときや長期間使用しないときは以下のいずれかの方法で凍結を予防してください。

[GF-A101C] の場合

使用後は、浴槽の水を抜いてください。浴槽に水が残っていると機器が凍結して破損するおそれがあります。

[GF-A551SC] の場合

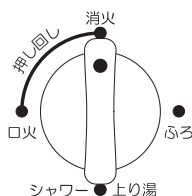
■通水による方法

この方法は本体だけでなく、給水配管、バルブ類の凍結も予防できます。

まずは準備

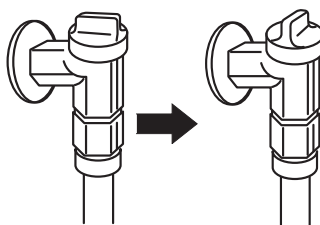
◎浴槽の排水栓を抜き、浴槽内のお湯(水)を完全に排水します

- 1 点火つまみが消火の位置にあることを確認します

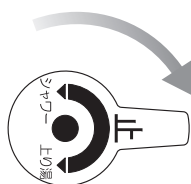


必ず確認します。

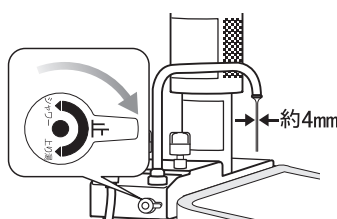
- 2 ガス栓を閉じます



- 3 シャワー・上り湯切替つまみを上り湯側へ回します



- 4 上り湯パイプから1分間に約400cc程度の水を浴槽に流し続けます
流量は給水元栓で調節します



流量が不安定なことがありますので、念のため約30分後に流量を確認してください。

お願い

- 通水による方法で凍結予防をしているときは、家の人に凍結予防の為に水を流していることを、お知らせください。水を止めると凍結します。

冬期の凍結を予防するには

■機器の水を抜く方法

長期間使用しないときは機器の水を抜く方法で凍結を予防してください。
図は右がまタイプで説明します。



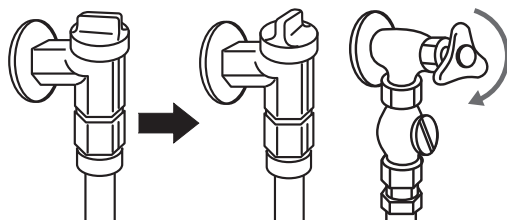
注意

●使用後すぐに水抜きをしない。機器やお湯が高温になっていることがありますので、やけどのおそれがあります。冷えてから行ってください。



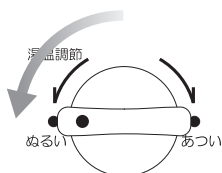
必ず行う

1 ガス栓・給水元栓を閉じる

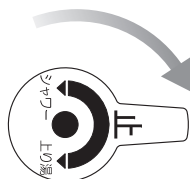


必ず閉じます。

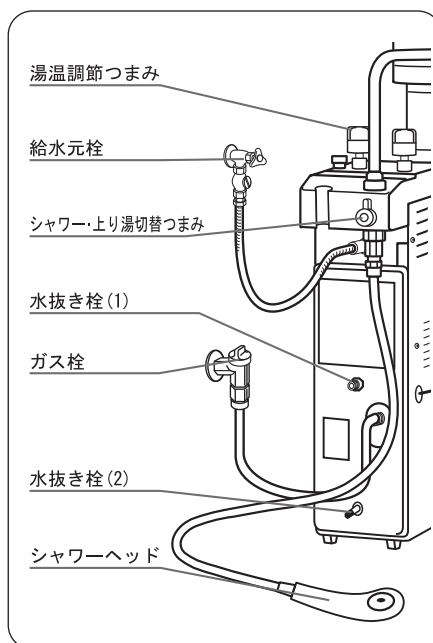
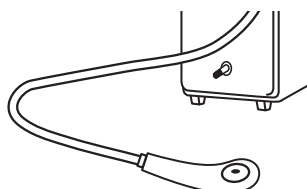
2 湯温調節つまみをぬるいの位置に合わせる



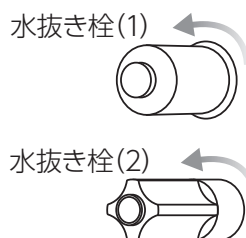
3 シャワー・上り湯切替つまみを上り湯側へ回す



4 シャワーヘッドを床においてシャワーホース内の水を抜く



5 水抜き栓(1)(2)を外し、水が出ることを確認する



6 浴槽の排水栓を抜き、浴槽内のお湯(水)を完全に排水する



再び使用するまで、そのままにしておきます。

お願い

- 次に使用されるまでそのままにしておいてください。
- 機器内の凍結は予防できても給水配管の凍結予防はできませんので、必ず保温材を巻くなどの処置をしてください。



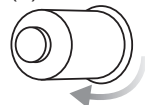
冬期の凍結予防をするには

[GF-A551SC] の場合

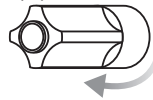
■再使用するとき

1 すべての水抜き栓を閉じる

水抜き栓(1)



水抜き栓(2)

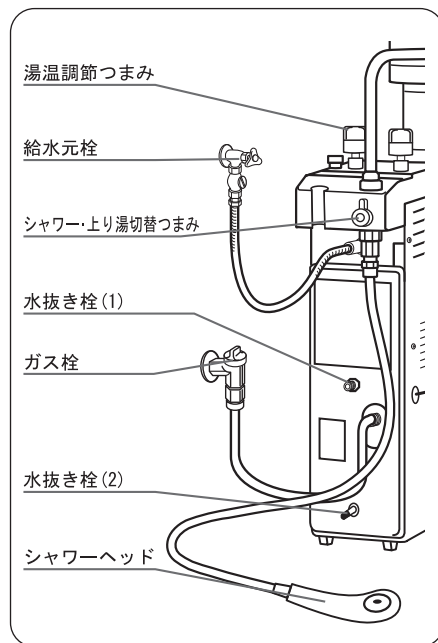
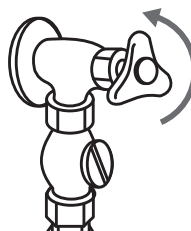


確実に閉じていることを確認します。

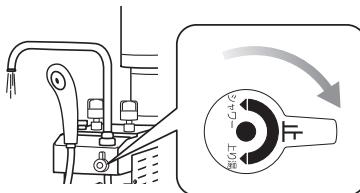
2 シャワー・上り湯切替つまみを止へ回す



3 給水元栓を開ける

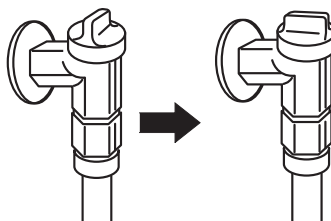


4 シャワー・上り湯切替つまみを上り湯側へ回し上り湯パイプから水が出ることを確認する



水が出ることを確認したら、止めます。

5 ガス栓を開ける



機器を使用できます。

お願い

- 再使用するときは、水抜き栓が確実に閉じていることを確認してください。

■凍結したときは

- 凍結したときはガス栓・給水元栓を閉じ、使用しないでください。凍結したままで使用すると、機器や配管が破損することがあります。

GF-A551SCの場合、点火つまみを消火にし、シャワー・上り湯切替つまみを上り湯側へ回したとき水が出て、止にしたとき水漏れがなければ使用できます。

- 解凍するまで待って、水漏れのないことを確認のうえご使用ください。

長期使用製品安全点検制度

■長期使用製品安全点検制度について

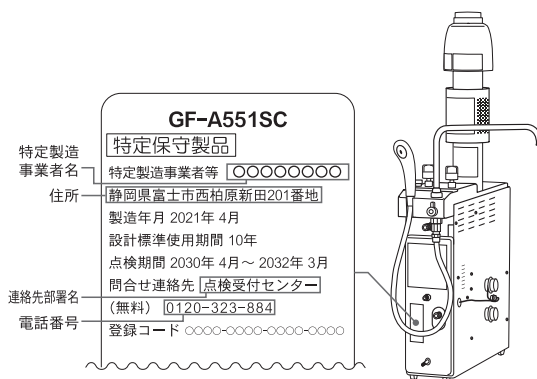
この製品は消費生活用製品安全法(消安法)で指定された特定保守製品です。

- 特定保守対象製品には「特定保守製品」と記載された定格銘板、または銘板が製品に貼り付けられています。
- 特定保守製品とは『消費生活用製品のうち、長期間の使用に伴い生ずる劣化(経年劣化)により安全上支障が生じ、一般消費者の生命または身体に対して特に重大な危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品であって、使用状況等から見てその適切な保守を促進することが適当なもの(消安法第2条第4項)』として指定された製品です。

■法定点検(有料)について

特定保守製品は、経年劣化による重大事故を防止するために、製品ごとに設定された点検期間中に点検を受けることが製品の所有者の責務として求められています。(消安法第32条の14) この製品に表示してある点検期間になったら、忘れずに点検を受けてください。なお、法定点検後も機器を継続して使用する場合には、こまめに(年1回程度)点検を受けることがこの機器を安全にご使用いただくために必要となりますので、ご注意ください。また、法定点検は、法定点検の基準に製品が適合しているかどうかを確認するものであって、その後の安全を担保するものではありません。

- この製品の点検期間は右図のように表示しています。
※図はGF-A551SCで説明しています。
- この製品は設計標準使用期間10年の前後1年間を法定の点検期間として設定しています。
点検期間には忘れずに法定点検(有料)をご依頼ください。



■所有者登録について

特定保守製品の所有者は、この製品の製造事業者により法定の所有者登録をすることが求められています。(消安法第32条の8第1項および第2項)

下記、所有者登録の方法をご覧ください。いずれかの方法で、ご登録をお願いします。

また、引越し等で住所が変わった場合や所有者が変わった場合など、所有者登録の内容に変更が生じた場合は、速やかに登録内容の変更をお願いします。変更のご登録をしない場合は**点検通知が届きません**。

所有者登録情報に関するお問い合わせは「**■法定点検の連絡先について**」(→P.19)をご覧ください。

なお、ご登録いただいた所有者情報は、消安法、個人情報保護法および弊社規定により、適切な安全対策の元に管理し、法定点検・リコール等製品安全に関するお知らせをする場合以外には使用いたしません。

所有者登録の方法 以下のいずれかの方法で登録を行います。

所有者票(返信はがき)で登録する

- 添付の所有者票に必要事項をご記入の上、投函してください。



インターネット(パソコン)で登録する

- ホームページ(<https://user.purpose.jp/takagi/pcIndex.jsp>)へアクセスし、画面の案内に従って登録をお願いします。



モバイル(携帯電話)で登録する

- 添付の所有者票のQRコードを読み取り、携帯サイトの画面に従って登録を行ってください。ご使用中の携帯電話がQRコードに未対応の方やURLがうまく受信できない方は、所有者票(返信はがき)またはインターネット(パソコン)での登録をお願いします。



※所有者登録は聞き間違い等による誤登録を防ぐため、お電話での受付はしておりません。

法定点検通知について

- 法定の所有者登録をいただいた方に、法定点検の通知をいたします。(消安法第32条の12) 通知は弊社から、はがきにて送付します。
- 法定点検に関するお問い合わせは、「**■法定点検の連絡先について**」(→P.19)をご覧ください。

長期使用製品安全点検制度

■この製品の設計標準使用期間について

この製品の設計標準使用期間は10年と算定しており、適切な点検をすることなく、この期間を超えてご使用になると、経年劣化による一酸化炭素中毒や火災等の事故に至るおそれがあります。

設計標準使用期間とは

標準的な使用条件(下記の「設計標準使用期間の算定の根拠」参照)の下で、適切な取り扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間で、製品ごとに設定されるものです。(消安法第32条の3) 無償保証期間とは異なります。

設計標準使用期間の算定の根拠

この製品の設計標準使用期間は、製造年月を始期とし、給湯部については、JIS S 2071「家庭用ガス温水機器・石油温水機器の標準使用条件及び標準加速モード並びにその試験条件」の「6 標準加速モード」に従い、ふろがま部については、JIS S 2072「家庭用ガスふろがま・石油ふろがまの標準使用条件、標準加速モード及び試験条件」に従って以下の標準使用条件で、耐久試験を行い、経年劣化により安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないことを確認した時期を終期として設定しています。

標準使用条件[GF-A551SC]						
家 族 構 成		4人世帯	使用日数/年	365日	電 源 電 圧	DC3V(単1乾電池×2)
給湯部	用 途		湯張り・シャワー		給 水 温 度	15℃
	季 節		中間期(春、秋)		出 湯 温 度	40℃
	気 温 / 温 度		20℃ / 65%		1日 の 使 用 量	456ℓ
	—		—		1日 の 使 用 時 間	1時間
ふろ部	沸かし直し回数		1回/週(40℃)		浴 槽 水 量	180ℓ
	追いだき回数		3回/日(40℃)			
標準使用条件[GF-A101C]						
家 族 構 成		4人世帯	使用日数/年	365日	電 源 電 圧	DC3V(単1乾電池×2)
入 浴 回 数 / 日		1回		ふろの沸かし上げ/日		1回(15℃から40℃)
浴 槽 の 標 準 水 量		180ℓ		保 温(追いだき) / 日		3回(38℃から40℃)

！お知らせ

- 上記の標準的な使用条件を超える使用頻度や異なる使用環境(高温・多湿・寒冷地・海岸近辺(塩害地域)・高地・温泉水・井戸水・地下水使用など)などで使用した場合は、設計標準使用期間よりも早期に安全上支障を生じるおそれが多くなることが予想されますので、製品に表示している点検期間より早期の点検を実施してください。お客様ご自身が思い当たる場合や気になる点がある場合は下記にご連絡ください。

■法定点検の連絡先について

所有者登録情報の変更・法定点検に関するお問い合わせ・法定点検の点検作業のご依頼

パーパス点検受付センター フリーダイヤル: 0120-323-884 受付時間/年中無休 9:00～17:00

- 点検費用はお客様にご負担いただくこととなります。点検料金につきましては、パーパス点検受付センターへお問い合わせください。また、点検の結果、整備・修理が必要となった場合は別途費用が発生します。
- 法定点検は全国のサービス店で対応いたします。また、ホームページ(<https://www.purpose.co.jp/>)からもご確認いただけます。

■部品の保有期間について

この機器の部品の保有期間は以下のとおりです。

部 品	保有期間	部 品 内 容 (部 品 名)
点 検 に 係 る 整 備 用 部 品	11年	点検の結果必要となると見込まれる部品です パッキン・Oリング・点火プラグ・圧電点火回路・サーモカップル・熱交閉塞検知サーミスタ・排気逆流検知サーミスタ・空だき防止スイッチ・温度ヒューズ・熱湯遮断弁(GF-A551SCのみ)
補 修 用 品 性 能 部 品	7年	機器の機能を維持するために必要となる部品です

点検のポイント・お手入れのしかた

 警告	●フロントカバーを外したり、分解したりしない。 ●故障または破損したと思われるときは使用しない。このときお客様ご自身で修理な らずに、お買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。	 分解禁止
 注意	●機器本体のお手入れは、ガス栓を閉め、機器が冷えてから行う。また、けがなどしないよう に、手袋などを着用し十分注意してください。	 必ず行う

安全にお使いいただけるように点検とお手入れは定期的に行ってください。

■点検のポイント(月1回程度)

次の8つのポイントで点検してください。

1. 機器および配管から水漏れはありませんか？
水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や階下の方にも多大な迷惑をかけます。
2. 機器および配管からガスの臭いがしませんか？
3. 運転中に機器から異常音が聞こえませんか？
4. 機器の外観に異常は見られませんか？
5. 機器のまわり、および排気筒トップのそばに燃えやすいものはありませんか？
また、整然とされていますか？
機器のまわりが雑然としていると、機器の内部に害虫(ゴキブリなど)が侵入したり、くもの巣がはったりして、機器の故障などの原因になる場合があります。
6. 排気筒・排気筒トップに損傷や詰まり・外れているところはありませんか？
7. 強化ガスホースが傷んでいませんか？
ときどき点検して、早めに交換を依頼してください。
8. 浴室の排水口が詰まっていますか？
排水口が詰まると、機器内に水が浸入して、機器より炎があふれ火災や機器が損傷するおそれがあります。
また、機器内に一定以上の水が浸入すると、安全のため口火が点火しません。
機器が冠水した場合、点検(保証期間内でも有料)が必要となります。お買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。

■お手入れのしかた(こまめに掃除)

機器外装のお手入れ

- 汚れは、湿ったやわらかい布で軽く拭き取ってください。
- シンナー・ベンジンなどは使わないでください。
変色・変形する場合があります。
- 機器の点火つまみの部分には、できるだけお湯・水がかからないようにしてください。



お願い

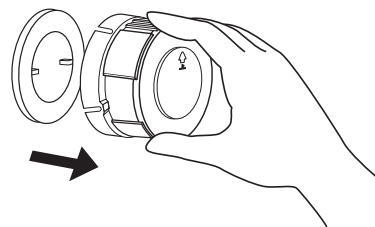
- 洗剤およびシンナー・ベンジンなどでは拭かないでください。
- 機器にキズがつきますので、たわしやブラシなど固いものでこすらないでください。
- 機器本体はさびることがありますので、ヘアピンや金属片を置かないでください。

点検のポイント・お手入れのしかた

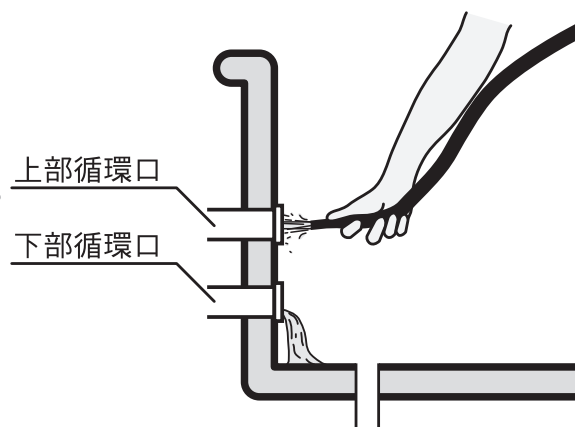
ふろがま内のお手入れ

ふろがま内部に湯あかなどがたまってくると、沸き上がり時間が長くなったり、沸き上がる前に消火することがあります。こまめにふろがま内部の洗浄を行ってください。

- 1 上部循環口の湯止めキャップを外します

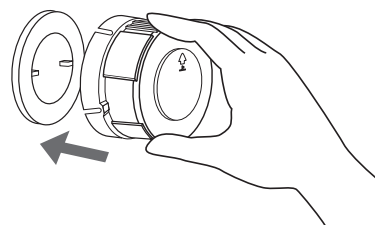


- 2 循環口へ水道からのホースを近づけ、先をつまんで勢いよく水を出します



- 3 上部・下部循環口を交互に数回水洗いします

- 4 上部循環口の湯止めキャップを元どおりに取り付けます



浴室内のお手入れ

- 浴室の排水口をよく掃除して、排水が十分行えるようにし、ふろがまの底部が水につからないようにしてください。
- 浴室に洗濯機等の排水をされる場合は、排水が直接ふろがまにかからないように注意してください。
- 浴室内は湿気が多いため、機器を使用していないときは、浴室の窓などを開け換気をよくしてください。

■定期点検について(有料)

機器を安心してより長くご使用いただくために、法定点検の他に1年に1回程度の定期的な点検を受けることをおすすめします。点検はお買い上げの販売店、または弊社窓口へご相談ください。

また、日常の点検およびお手入れについては「点検のポイント・お手入れのしかた」(→P.20～22)をご覧ください。

点検ランプが点灯したときはお買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。

点検のポイント・お手入れのしかた

■乾電池の交換のしかた [GF-A551SC]

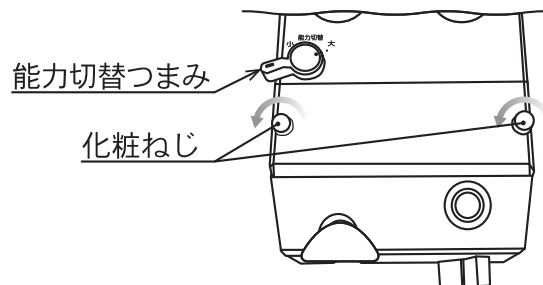
電池交換ランプが点滅したり、全く点灯しない場合は、電池の寿命が考えられます。以下の要領で、乾電池の交換を行ってください。

⚠ 注意

●電池ケースカバーの化粧ねじはしっかり締める。怠ると機器内に水が浸入して、機器の故障の原因になります。

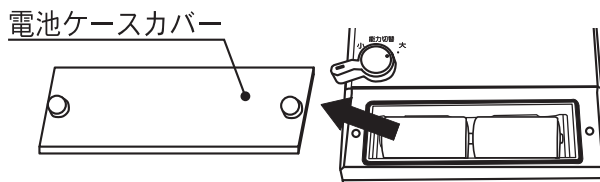


1 化粧ねじを緩めます



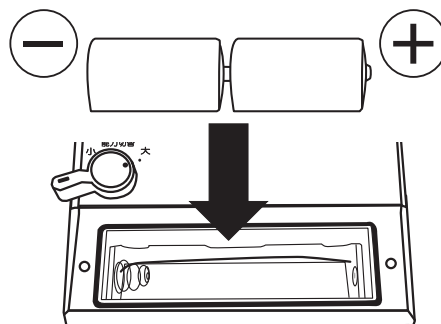
2 電池ケースカバーを外します

カバーを外すときは、能力切替つまみに気をつけて外してください

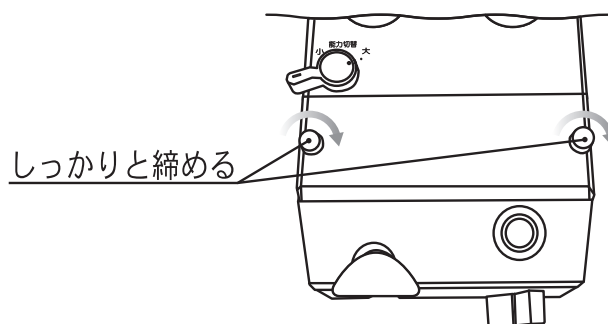


3 2個とも新しい単一形(1.5V) アルカリ乾電池に交換します

2個とも同じ種類のアルカリ乾電池を使用し、+と-を間違えずに入れてください



4 乾電池交換後、電池ケースカバーを取り付け、化粧ねじをしっかりと締めます



お願い

- 乾電池は破裂・液漏れを起こすことがあります。下記の点に注意してお取り扱いください。
 - ・2個とも同じ種類の新しいアルカリ乾電池を使用してください。
 - ・使用済みの乾電池は、分解・加熱・火の中に投げ込んだりしないでください。
 - ・長期不在等長く機器を使用しない場合は、乾電池を機器から抜いてください。
- 乾電池の寿命は通常で約1年くらいを目安としてください。付属の乾電池は工場出荷時のものですので、多少早めに交換が必要な場合があります。



点検のポイント・お手入れのしかた

■乾電池の交換のしかた [GF-A101C]

電池交換ランプが点滅したり、全く点灯しない場合は、電池の寿命が考えられます。以下の要領で、乾電池の交換を行ってください。



注意

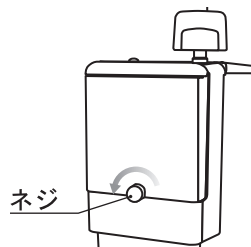
- 電池ケースカバーの化粧ネジはしっかり締める。怠ると機器内に水が浸入して、機器の故障の原因になります。



必ず行う

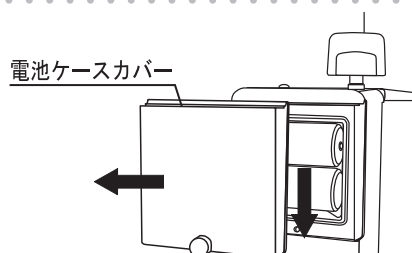
1

化粧ネジを緩めます



2

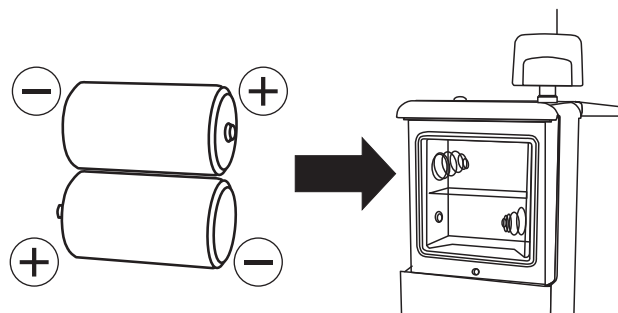
電池ケースカバーを下へさげ手前に引いて外します



3

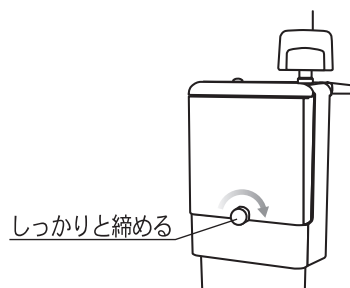
2個とも新しい単一形(1.5V) アルカリ乾電池に交換します

2個とも同じ種類のアルカリ乾電池を使用し、⊕と⊖を間違えずに入れてください



4

乾電池交換後、電池ケースカバーを元のとおりに取り付け、化粧ネジをしっかりと締めます



お願い

- 乾電池は破裂・液漏れを起こすことがあります。下記の点に注意してお取り扱いください。
 - ・2個とも同じ種類の新しいアルカリ乾電池を使用してください。
 - ・使用済みの乾電池は、分解・加熱・火の中に投げ込んだりしないでください。
 - ・長期不在等長く機器を使用しない場合は、乾電池を機器から抜いてください。
- 乾電池の寿命は通常で約1年くらいを目安としてください。付属の乾電池は工場出荷時のものですので、多少早めに交換が必要な場合があります。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思っても、よく調べてみると故障ではない場合もあります。以下の内容をお調べのうえ、なお異常があるときはお買い上げの販売店、または弊社窓口へお問い合わせください。

上り湯やシャワーから出るお湯[GF-A551SCのみ]	
こんなとき	こんなことが考えられます/ここを調べてください
給湯栓を絞りすぎて水になった	給湯栓から出るお湯の量を少なくすると機器が燃焼を止め水になります。給湯栓をもっと開けてください。
お湯の温度が安定しない	機器の故障が考えられます。お買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。
上り湯パイプ・シャワーヘッドからお湯が出ない (給湯側バーナーに着火しない)	ガス栓が全開になっていますか。
	点火つまみをシャワー・上り湯まで回していますか。
	給水元栓が全開になっていますか。
低温のお湯が出ない 高温のお湯が出ない	ガス栓が全開になっていますか。
	湯温調節つまみの設定は適切ですか。 能力切替つまみの設定は適切ですか。 ※水圧が極端に低い場合では、能力切替つまみを小・湯温調節つまみをぬるいにしても熱いお湯が出る場合があります。このような場合は水道工事店へ給水設備の改善を依頼してください。
	夏場など、水温が高いときに低温のお湯を出そうとすると、お湯の温度が高くなる場合があります。
	少量のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなる場合があります。
シャワーのお湯が止まる	長時間追いだきした直後は、シャワーから熱いお湯(80℃以上)が出るのを防ぐため、出湯を自動的に停止することがあります。
シャワーが口火燃焼しているときやふろ沸かし中に、上り湯パイプ・シャワーヘッドから水が出ることもある	機器内部の膨張した水が出るためで故障ではありません。
お湯が白く濁って見える	水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。汚濁とは違い無害なもので、異常ではありません。

操作パネル	
こんなとき	こんなことが考えられます/ここを調べてください
点火確認ランプが点灯し続けない	電池が切れていませんか。
	“カチン”と音がしてから、15秒ほど押し続けていますか。
	点火つまみを十分下まで押し回していますか。
電池交換・点火確認・点検ランプが同時に点滅し、自動消火する	施工上の問題や機器使用中に換気扇を使用したなどの問題により、排気ガスの逆流を検知したためです。

その他	
こんなとき	こんなことが考えられます/ここを調べてください
浴槽が青く見える	湯あかが残っていると、水中の微量の銅イオンと化合して青く変色することがありますが、健康上問題はありません。浴室の掃除をこまめに行うことで着色しにくくなります。

故障かな?と思ったら

機器	
こんなとき	こんなことが考えられます/ここを調べてください
□火が点火しない 使用中に消火した	ガス栓が全開になっていますか。
	□火が点火しない場合、点火つまみを十分下まで押し回していますか。
	浴室の排水口の詰まりなどが原因で、機器が冠水したおそれはありませんか。機器内に一定以上の水が浸入すると安全のため、□火が点火しません。お買い上げの販売店、または弊社窓口へお問い合わせください。
	電池が切れていませんか。
	ガスメーターの安全装置(マイコンメーター)がガスを遮断していませんか。 LP ガスの場合、ガスがなくなっていないですか。
おふろが沸かない (バーナーに着火しない)	ガス栓が全開になっていますか。
	点火つまみをふろ[GF-A551SC]または追いだき[GF-A101C]まで回していますか。
長期間の未使用時、□火になかなか点火しない	長期間使用しなかったことにより、強化ガスホース内に空気が入り込んだためです。点火操作を数回繰り返してください。 それでも点火しないときは、ガス事業者(供給業者)へ依頼してください。
[GF-A551SC] 上り湯やシャワーを使用すると 機器より異音がする	ふろ熱交換器が温まって発生する音で、機器の故障・異常ではありません。 上り湯やシャワーを使用するときは、浴槽の下部循環口より上にお湯(水)を必ず入れてください。
かま鳴りがする (ボコン、ボコンと音がして、循環口より大きな気泡が出る)	ふろがま全体が傾いていませんか。 ふろがまの循環パイプと浴槽側の循環口がずれていませんか。 お買い上げの販売店、または弊社窓口へご相談ください。
点火または消火後、機器から“ボコン”と音がする	機器の側板・天板などが熱によって膨張・収縮することにより起こる音です。
おふろ沸かしをしているとき、 機器より“ジュジュ”と音がする	浴槽の水が冷たい場合、機器内の結露水が遮熱板に落下して蒸発するときの音です。機器の故障や異常ではありません。
排気筒トップから白い湯気が出る	冬場など外気温が低いときには、排気ガスが外気に触れると結露し、白い湯気に見えます。異常ではありません。

故障かな?と思ったら

■アラームについて

機器に不具合が生じると機器上面の電池交換・点火確認・点検のランプが点滅してお知らせします。

□火点火操作を行い、**点火つまみが□火の位置で点滅するランプ**を下記で確認していただき、適切な処置を行ってください。



ランプ			原因	処置
電池交換	点火確認	点検		
消灯	消灯	1回ずつ点滅	・ガス栓が全開になっていない ・□火点火ミス ・□火が消えたため	ガス栓を全開にする。(→P.8・13) 点火つまみを消火の位置に戻し、再度□火を点火する。(→P.9・13) □火の点火操作を繰り返してもアラームになる場合は修理を依頼する。
消灯	消灯	3回ずつ点滅	浴室内の給気口・換気口が閉塞されていることで、燃焼異常がおきたため	浴室内の給気口・換気口が塞がれていないことを確認し、10分以上換気をして再度□火を点火する。(→P.9・13) 給気口・換気口が塞がれていない状態でアラームになる場合は、修理を依頼する。
消灯	4回ずつ点滅	4回ずつ点滅	機器の故障	修理を依頼する。
消灯	消灯	5回ずつ点滅		
消灯	消灯	6回ずつ点滅		
消灯 または 連続点滅	点灯	点灯	長期にわたり、機器を使用したため (故障ではありません)	一般的な使用で10年相当使用されたため、製品点検時期のお知らせ機能がはたらきました。使用できますが、安全のため点検(有料)を依頼してください。(→P.19) ※電池交換ランプが点滅しているときは、電池が消耗していますので電池の交換も行ってください。
連続点滅	連続点滅	連続点滅	浴室内に排気ガスの逆流を検知したため	点火つまみを消火の位置に戻し、10分以上換気をして再度□火を点火する。 ランプが点滅している間は、機器の使用はできません。
連続点滅	点灯	消灯	電池が消耗しているため	電池を新しいものに交換する。(→P.22・23)
点灯	点灯	点灯	繰り返し排気ガスの逆流を検知、または繰り返し燃焼異常を起こしたため	修理を依頼する。(下記、再使用禁止装置(インターロック)参照)

あふれサーミスタ(排気逆流検知装置)

浴室内への燃焼排気ガスの逆流を検知する装置です。

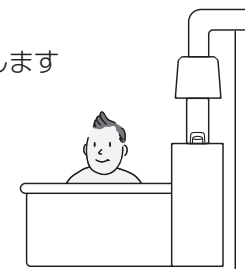
万一、排気ガスが浴室内に逆流しても…



あふれサーミスタが検知



自動消火します



あふれサーミスタ作動について

あふれサーミスタが作動すると、機器は自動消火し、アラームを表示します。機器の故障ではありません。

このアラームが発生した場合は、窓などを開け、浴室内の換気を十分に行ってください。

機器の使用中は、脱衣室や台所の換気扇を使用すると、排気逆流の原因となりますので、必ず「切」にしてください。

また、換気扇を使用していない場合でも度々アラームが発生する場合には、排気筒の不備が考えられますので、お買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。

再使用禁止装置(インターロック)

安全装置が作動しても原因を解決しないまま繰り返し使用すると作動します。インターロックが作動すると、機器を使用することができません。

⚠警告 ●窓などを開け、浴室内の換気を十分に行い、ガス栓を閉じてお買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。



アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

- 「故障かな?と思ったら」(→P.24～26)をご確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明の場合には、お客様ご自身で修理なさらないでお買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
 - (1) 氏名・住所・電話番号・道順(付近の目印等)
 - (2) 品名・ガスの種類
機器の銘板をご覧ください(→P.1)
 - (3) お買い上げ日(保証書をご覧ください)
 - (4) 現象(故障または異常内容などできるだけ詳しく)
 - (5) 訪問ご希望日

※弊社窓口は、商品保証書の下段をご参照ください。

保証について

- この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証書に記載されている保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

- この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の保有期間は製造打切り後7年です。

転居または機器を移設される場合

- ガスの種類が、異なる地域へ転居される場合は、改造・調整の必要があります。お買い上げの販売店、または転居先のガス会社へご相談ください。
- 増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の資格・技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、機器本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居・移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

アフターサービス等についてわからないとき

- お買い上げの販売店、または弊社窓口へお問い合わせください。

※弊社窓口は、商品保証書の下段をご参照ください。

長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合は次の操作をしてください。
 - (1) ガス栓・給水元栓(GF-A551SC)を閉じます。
 - (2) 乾電池を取り外します。
 - (3) 機器の水抜きを行います。(→P.15・16)

〔仕様表〕

項 目		内 容
品 名		GF-A551SC
型 式 名		GF-A550SC
外 形 寸 法 (mm)		幅175×奥行655×高さ658(1248)
質 量 (kg)		17
点 火 方 式		圧電点火
水 使 用 水 圧	最 低 作 動 水 圧	100～500kPa(1.0～5.0kgf/cm ²)
	ガ ス	15A(R1/2) TU 接続
	給 水	15A(R1/2) オネジ
	循 環 パ イ プ	φ45mm(外径) : GL180mm-100mmピッチ
電 源		DC3V(単一形アルカリ乾電池×2)
材 質	本 体 外 装	ステンレス鋼板 溶融亜鉛メッキ鋼板(粉体焼付塗装)
	排 気 部	溶融亜鉛メッキ鋼板(耐熱塗装)
	熱 交 換 器	給湯:脱酸銅 ふろ:ステンレス鋼板
	バ ー ナ ー	ステンレス鋼板
安 全 装 置		空だき防止装置 立消え安全装置 排気逆流検知装置 熱交閉塞検知装置 冠水検知装置 過熱防止装置 過圧防止安全装置 熱湯遮断弁 給換気口閉塞検知装置

〔能力表〕

使用ガス 使用ガスグループ		1時間当たりのガス消費量 kW {kcal/h}		出湯能力(最大時)(ℓ/分)		沸き上がり時間(浴槽水量:180ℓ)分			ガス接続
				水温+25℃ 上昇	水温+40℃ 上昇	春・秋 (15→40℃)	夏 (25→40℃)	冬 (5→40℃)	
都市ガス	13A	12.8{10,000}	10.5{9,000}	5.5	3.4	43	26	60	15A (R1/2) TU 接続
	12A	12.1{10,300}	9.77{8,400}	5.1	3.2	46	28	64	
LPガス		12.7{0.91kg/h}	9.94{0.71kg/h}	5.5	3.4	45	27	63	

◎ガス:JISに規定する標準ガス・標準圧力のとき。

◎出湯能力は、水圧100kPa {1.0kgf/cm²} のとき。

◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

〔仕様表〕

項	目	内 容
品	名	GF-A101C
型	式 名	GF-A100C
外 形 寸 法 (mm)		幅110×奥行621×高さ492(1110)
質 量 (kg)		10.5
点 火 方 式		圧電点火
接 ガ	ス	15A(R1/2) TU 接続
続 循 環 パ イ プ		φ45mm(外径) : GL180mm-100mmピッチ
電	源	DC3V(単一形アルカリ乾電池×2)
材 質	本 体 外 装	ステンレス鋼板 溶融亜鉛メッキ鋼板(粉体焼付塗装)
	排 気 部	溶融亜鉛メッキ鋼板(耐熱塗装)
	熱 交 換 器	ステンレス鋼板
	バ ー ナ ー	ステンレス鋼板
安 全 装 置		空だき防止装置 立消え安全装置 排気逆流検知装置 冠水検知装置 熱交閉塞検知装置 過熱防止装置 給換気口閉塞検知装置

〔能力表〕

使用ガス 使用ガスグループ		1時間当たりのガス消費量 kW {kcal/h}	沸き上がり時間(浴槽水量: 180ℓ) 分			ガス接続
			春・秋(15→40℃)	夏(25→40℃)	冬(5→40℃)	
都市ガス	13A	11.6{10,000}	39	24	54	15A (R1/2) TU 接続
	12A	10.8{9,300}	42	25	59	
LPガス		10.8{0.77kg/h}	42	25	59	

◎ガス：JISに規定する標準ガス・標準圧力のとき。

◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

ガスふろがま

商品保証書

品名 GF-A551SC GF-A101C

お買い上げ日		年 月 日		保証期間	1 年
お客様	ご芳名	様			
		ご住所			
販売店	店 名	電話番号		扱 者 印	
	住 所				(印)

お客様へ

- この保証書をお受取りになるときに買い上げ日、販売店名、扱者印が記入してあることを確認してください。
 - 本証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。
- 上記機器をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書はおお客様の通常の
ご使用により万一故障した場合には、本書記載内容で無料修理をお約束するものです。

記

- (1)保証期間は上記品名の機器をお買い上げの日から表記の期間とし機器本体を対象とします。
- (2)万一故障の場合はお買い上げの販売店、または弊社修理受付センターへお申し出ください。原則として出張修理をいたします。なお、離島および離島に準ずる遠隔地へのお出張修理を行った場合、出張に要する実費を申し受けます。
- (3)サービス員が参上したときに本証書をお示しください。紛失されますと有料修理となる場合があります。
- (4)保証期間中でありましても次の場合には有料修理となります。
 - (イ) 当製品の取扱説明書、又は貼付ラベル等のご案内によらないでご使用になり故障した場合。
 - (ロ) 当製品の工事説明書によらないで施工されたり、専門業者以外による修理、移動、改造等を行ったことにより故障した場合。
 - (ハ) 設置環境の経年変化に伴う故障。及び塗装の色褪せ・摩擦等により生ずる機能に影響ない変化。
 - (ニ) 海岸付近・温泉地等の地域における腐食性の空気環境に起因する機能に影響ない変化。
 - (ホ) ねずみ・くも等の生物活動に起因する故障。
 - (ヘ) 住宅用途以外(例えば業務用・船舶・車両上でのご使用)にてご使用された場合の故障。
 - (ト) 火災・地震・洪水・落雷等の天変地異・凍結。又は暴動等の破壊行為による故障。
 - (チ) ガス・給水の供給トラブルによる故障。(給水についてはGF-A101Cを除く)
 - (リ) 熱量変更、又は移動等に伴う調整・確認作業。
 - (ヌ) 給水・給湯配管の錆び等異物混入による故障。(GF-A101Cを除く)
 - (ル) 温泉水・井戸水をご使用になったことによる故障。
 - (ヲ) 水道法に定められた飲料水の基準に適合しない水をご使用になったことによる故障。
 - (ワ) 排水不良等による機器の冠水等に起因する故障。
- (5)本書は、日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- (6)この保証書によって保証書を発行している者、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- (7)商品や技術のお問い合わせ等は買い上げの販売店、または弊社お客様相談室へお問い合わせください。

パーパス株式会社

〒417-8505 静岡県富士市西柏原新田201

弊社窓口

修理受付センター(修理受付のみ)	点検受付センター(点検制度のお問い合わせ先)	お客様相談室(商品や技術のお問い合わせ等)
TEL 0120-260-884(通話料金無料)	TEL 0120-323-884(通話料金無料)	TEL 0545-32-1389
携帯電話からは 03-5682-4545 へおかけください。	携帯電話からは 0545-32-1389 へおかけください。	受付 平日 9:00 ~ 19:00
受付時間:年中無休 24 時間修理受付	受付時間:年中無休 9:00 ~ 17:00	時間 土曜日・日曜日・祝日 9:00 ~ 17:00

ご連絡いただいた個人情報、弊社規定によりお問い合わせ対応に必要な範囲内で使用します。お問い合わせ内容につきましては、個人を特定できないデータに加工した後、サービス向上等のために利用いたします。